

円形定着板で 590N/mm² 級および 685N/mm² 級梁主筋を定着した RC 造ト形接合部の構造性能

筆者らは、ねじ節鉄筋用の定着板・ナット一体型(以下、ネジ節型定着金物)と定着板単体型の機械式定着金物を用いたト形接合部の終局耐力は、定着金物形状に係わらず同じ設計式で評価できることを明らかにした。しかし、ネジ節型と定着板単体型定着金物を用いたト形接合部の構造性能を比較した実験は行われていない。

また、筆者らは、ネジ節型定着金物で 590N/mm² 級および 685N/mm² 級梁主筋を定着したト形接合部の構造性能について一連の実験を行った。本論文では、既往実験のネジ節型定着金物と同様、円形定着板で 590N/mm² 級および 685N/mm² 級梁主筋を定着したト形接合部の実験を行い、ネジ節型定着金物と円形定着板による終局耐力および変形性能について比較検討した。その結果、円形定着板の場合も、ネジ節型定着金物と同様、接合部終局耐力時梁せん断力 gQ_{ju} は、最大耐力実験値に対して妥当に評価されることを明らかにした。

本稿は、当機構の技術支援で行われた合同製鐵(株)の 590N/mm² 級および 685N/mm² 級高強度主筋を用いた EG 定着板工法の開発実験を基に、日本建築学会「技術報告集」論文(2016 年 6 月号掲載予定)としてまとめたものである。